

平成24年3月期 中間決算概要

連結決算概要（経営成績）について

(単位：億円)

区 分		H23/9 当中間期 実績	H22/9 前中間期 実績	増減	H24/3 通期見込 2	H23/3 前期通期 実績	増減
営業収益	高速道路事業	3,360	3,601	▲ 241	6,743	7,103	▲ 359
	料金収入(補填金含む)	2,844	2,800	43	5,654	5,553	100
	(うち料金収入のみ)	(2,737)	(2,620)	(116)	(5,547)	(5,062)	(484)
	道路資産完成高	508	793	▲ 284	1,077	1,536	▲ 458
	その他	7	7	0	12	13	▲ 1
	関連事業	252	247	5	542	530	11
	SA・PA事業 ※3	181	135	45	353	250	102
	その他の事業 ※4	70	111	▲ 40	188	279	▲ 90
		3,612	3,848	▲ 236	7,285	7,634	▲ 348
営業費用	高速道路事業	3,238	3,510	▲ 272	6,742	7,092	▲ 350
	道路資産賃借料	1,921	1,923	▲ 2	3,928	3,890	37
	管理費用	807	793	14	1,736	1,665	70
	道路資産完成原価	508	793	▲ 284	1,077	1,536	▲ 458
	関連事業	221	209	11	503	470	33
	SA・PA事業 ※3	140	94	46	295	180	115
	その他の事業 ※4	80	115	▲ 34	208	290	▲ 82
	3,459	3,720	▲ 260	7,246	7,563	▲ 317	
営業利益	高速道路事業	122	91	31	1	10	▲ 9
	関連事業	30	37	▲ 6	38	60	▲ 21
	152	128	24	39	71	▲ 31	
経常利益		159	134	25	60	87	▲ 27
中間(当期)純利益		89	75	14	32	100	▲ 68

- 1 当社グループは、当社及び連結子会社23社、持分法適用の関連会社6社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っております。
- 2 「通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。
- 3 高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)で行う物販・飲食等の事業をいいます。
- 4 受託事業、コンサルティング事業、収益還元事業等の事業をいいます。

高速道路事業トピックス

- 当中間期における当社管内の高速道路の通行台数は、昨年度から引き続き増加傾向にありましたが、本年6月20日以降、高速道路無料化社会実験が凍結、休日特別割引(上限料金制(休日1,000円))が廃止されたことから減少に転じ、前年同期比0.4%の増加にとどまりました。
 - 営業収益のうち、高速道路料金収入(国からの無料化社会実験補填金を含む)は、休日特別割引(上限料金制(休日1,000円))の廃止などの影響により、前年同期比43億円増の2,844億円となりました。
 - 一方、営業費用のうち独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する道路資産賃借料は、前年同期比2億円減の1,921億円となりました。
 - また、管理費用は、高速道路の新規供用などにより、前年同期比14億円増の807億円となりました。
 - 以上のことなどから、当中間期における高速道路事業の営業利益は、前年同期比31億円増の122億円となりました。
 - 通期における高速道路事業の業績は、料金収入は増加するものと予想しておりますが、舗装補修や橋梁の劣化対策など、更なる「100%の安全・安心」を推進していくことから、営業利益は前期比9億円減の1億円を見込んでおります。
 - 当中間期における道路資産完成高¹は、阪和道(海南インターチェンジ~有田インターチェンジ)の4車線化(上り線側2車線運用の開始)や舞鶴若狭道(小浜西インターチェンジ~小浜インターチェンジ)の開通がありましたが、前年と比べ新規開通箇所が少ないことから、前年同期比では284億円減の508億円となりました。
 - 通期における道路資産完成高は、上記に加えて、米子道(久世インターチェンジ~上野パーキングエリア)の4車線化の完成がありましたが、中間期と同様の理由から、前期比458億円減の1,077億円を見込んでおります。
- 1 道路資産完成高は利益を含まず、道路建設に必要な経費そのままに機構に引き渡すことから、道路資産完成原価と同額になります。

関連事業トピックス

- 当中間期におけるS A・P A事業の営業収益は、昨年11月に株式を取得した、P A店舗運営会社3社の売上が加算されたことから、前年同期比45億円増²の181億円となりました。
- また、S A・P A事業の営業費用についても、上記3社の費用が加算されたことから、前年同期比46億円増の140億円となりました。
- 以上のことなどにより、当中間期におけるS A・P A事業の営業利益は前年と同等の40億円となり、関連事業全体では、収益還元事業³の実施などにより前年同期比6億円減の30億円となりました。
- 通期における関連事業の業績は、休日特別割引(上限料金制(休日1,000円))の廃止などの影響によるS A・P A事業の減益などにより、営業利益は前期比21億円減の38億円を見込んでおります。
 - 2 S A・P A事業の営業収益の増加額が大きいのは、従来の営業収益がS A・P A店舗テナントからの賃貸料収入であるのに対し、上記3社の営業収益はお客様への売上そのものであることに起因しております。
 - 3 収益還元事業では、社会とのコミュニケーションを通じて100%の安全・安心の追求を目指す「DRIVE&LOVE」プロジェクトや携帯電話・PCを使った情報提供ツールである「iHighway(アイハイウェイ)」の充実などを実施しているほか、東日本大震災支援も行っております。

決算値の季節的変動

- 高速道路事業においては、気候が良いことや長期休暇が多いことなどから、料金収入は上半期のほうがより多くなる傾向があります。
- 他方、冬期における交通を確保するための雪氷対策などにより、上半期よりも下半期に費用が多くなる傾向があります。
- このため、上半期と下半期の業績には下記のような季節的変動が生じ、結果として上半期と下半期の営業利益を比較した場合、上半期の値が大きくなる傾向にあります。

(単位:億円)

区 分	上半期(実績) (A)	下半期(見込)	合計(見込) (B)	上半期比率 (A/B)
営業収益	3,612	3,673	7,285	49.6%
高速道路事業	3,360	3,383	6,743	49.8%
うち料金収入	2,844	2,810	5,654	50.3%
関連事業	252	289	542	46.5%
営業費用	3,459	3,786	7,246	47.7%
高速道路事業	3,238	3,504	6,742	48.0%
うち管理費用	807	928	1,736	46.5%
関連事業	221	282	503	44.0%
営業利益	152	▲ 113	39	-
高速道路事業	122	▲ 120	1	-
関連事業	30	7	38	80.0%

下半期及び合計の額は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

【参考】個別決算概要（経営成績）について

(単位:億円)

区 分		H23/9 当中間期 実績	H22/9 前年中間期 実績	H24/3 通期見込 1	H23/3 前年通期 実績
営業収益	高速道路事業	3,355	3,596	6,735	7,095
	料金収入(補填額含む)	2,844	2,800	5,654	5,553
	(うち料金収入のみ)	(2,737)	(2,620)	(5,547)	(5,062)
	道路資産完成高	508	793	1,077	1,536
	その他	2	2	4	5
	関連事業	96	138	231	324
	SA・PA事業 ^{※2}	52	54	103	105
	その他の事業 ^{※3}	44	84	128	218
	3,452	3,735	6,967	7,419	
営業費用	高速道路事業	3,231	3,514	6,739	7,105
	道路資産賃借料	1,921	1,923	3,928	3,890
	管理費用	801	797	1,733	1,678
	道路資産完成原価	508	793	1,077	1,536
	関連事業	86	123	221	299
	SA・PA事業 ^{※2}	29	31	66	63
	その他の事業 ^{※3}	56	92	154	236
	3,317	3,637	6,960	7,404	
営業利益	高速道路事業	124	82	▲ 3	▲ 10
	関連事業	10	15	10	24
	134	98	6	14	
経常利益		147	107	25	29
中間(当期)純利益		89	63	19	24

1 「通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2 高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)で行う物販・飲食等の事業をいいます。

3 受託事業、コンサルティング事業、収益還元事業等の事業をいいます。